

マテリアル先端リサーチインフラ (ARIM) の紹介講演会 & NIMS 並木地区ラボツアー

参加費
無料



ARIM Japan NIMS-ARIM

開催日時

2023年

8/8 (火)

10:30~14:10

開催場所

【講演会】 つくば研究支援センター(つくば市千現2-1-6) (定員:30名)
& オンライン開催(講演会のみ参加) (定員:100名)

【見学会】 物質・材料研究機構 並木地区 (定員:30名)

もっと公的研究機関を利用しませんか？

- ・マテリアル先端リサーチインフラ (ARIM) は、物質・材料研究機構 (NIMS) をはじめ国内25機関が提供する共用施設利用サービスです。お気軽にお問い合わせください。
- ・ARIMでは、ものづくりの基幹となる物質・材料の合成や加工、各種分析・解析・評価ができる先端かつ高価な装置類をお使いいただけます。
- ・企業は、比較的低価格で利用することができます。また、依頼分析・加工だけでなく、NIMS 職員の指導の下、利用者自ら装置操作を行い、技術を習得できます。
- ・今回はNIMSの協力を得て、ARIM紹介の講演会を開催します。
あわせて企業様に関心をお持ちのテーマについて見学会を実施します。

皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

【プログラム】 (詳細は裏面)

【講演会】 10:30~11:50 会場&オンライン

・マテリアル先端リサーチインフラ (ARIM) の紹介

【見学会】 13:00~14:10

・物質・材料研究機構 (NIMS) 並木地区ラボツアー

お申込方法

URL: https://apply.e-tumo.jp/pref-ibaraki-u/offer/offerList_detail?tempSeq=44280

※お申し込みの際は、上記URLから会社名、部署、氏名、メールアドレス、参加方法 (現地orオンライン参加) などご記載の上、お申し込みください。



申込期限: 8月2日 (水)

* 定員になり次第受付終了します。

* 応募多数の場合は、県内企業 (ベンチャー含む) を優先させていただきます。

【主催】 茨城県・(株)つくば研究支援センター

【本イベントに関する問合せ先】 茨城県成長産業振興プロジェクト事業受託事業者 (つくば研究支援センター内)

E-mail: issk@tsukuba-tci.co.jp

マテリアル先端リサーチインフラ (ARIM) 紹介講演会 & NIMS並木地区ラボツアー

詳細プログラム

開会

10:30～10:35 ご挨拶 (TCI)

【講演会】

■10:35～10:50 マテリアル先端リサーチインフラ (ARIM) 紹介

～ARIM事業全体説明～

見持 洋司氏 (NIMS ARIM運営機構業務実施者)

- ✓ARIMについて (体制：実施機関、データ利活用、重要技術領域)
- ✓支援件数など紹介

■10:50～11:05 NIMS-ARIM紹介～主要設備～

下村 周一氏 (NIMS ARIM運営機構業務実施者)

- ✓ARIM全体の設備及びNIMS設備紹介
- ✓NIMSの主な設備の利用例

■11:05～11:20 NIMS-ARIM利用案内

三浦 薫氏 (NIMS ARIM運営機構業務実施者)

- ✓ARIMの利用形態
(技術相談、機器利用、技術補助、技術代行、共同研究、データ利用)
- ✓利用方法 (利用相談→申請→予約→設備利用→報告→利用料支払)
- ✓料金例、「トライアルユース」の紹介

■11:20～11:50 NIMS表面・分析ユニットにおけるARIM利用例紹介

松下 能孝氏 (NIMS 技術開発・共用部門)

材料創製・評価プラットフォーム
表面・バルク分析ユニットリーダー)

- ✓代表的な装置 (表面・バルク分析ユニット) と利用例を紹介

11:50～13:00 移動・昼食 (TCIからNIMS並木地区へ、各自)

【見学会】

■13:00～14:10 NIMS並木地区ラボツアー

M-cube棟 研究展示・ニオイセンサー実験室

Nano Green棟 アコースティック・エミッション (AE) 法のプレゼン
熱電変換材料実験室



同日開催しているNIMS公開 (オープンハウス2023) への参加は可能です。
詳細はこちらをご覧ください。

<https://www.nims.go.jp/openhouse/>

※マテリアル先端リサーチインフラ (ARIM)

全国25の大学・研究機関で稼働するおよそ1,100台の設備・機器と数百名の技術スタッフが、ニッポンの"モノづくり"を応援します！

設備・機器の使い方はいろいろ。

- 利用者自身で操作 (機器利用)
機器は利用者自身が操作し、実験します。データ解析や考察も利用者が行います。
- 技術スタッフが補助 (技術補助)
利用者は操作方法などについて、技術スタッフの指導・補助を受けながら機器を使用します。
- 利用者に代わり操作 (技術代行)
依頼に基づきハブ・スポーク機関の技術スタッフが実験・測定・評価・解析を行います。
- 利用者とハブ・スポーク機関が共同で実施 (共同研究)
データの解析や学術的な議論を含めて、利用者とハブ・スポーク機関とが共同で行います。

NIMS-ARIM

